

灰の水曜日礼拝



飯能ルーテル教会

灰の水曜日礼拝

2022.3.2.水

1. はじめの歌 290 番「ガリラヤの風」

2. 御名による祝福

司式：父と子と聖霊の御名によって。

会衆：アーメン

3. はじめに

司式：私たちの主イエス・キリストは、ガリラヤで、神の福音を宣べ伝えて言われました。

「時は満ちた。神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」。「わたしが来たのは、あなたがたが命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。」私たちはこの日、四旬節のはじめの日、灰の水曜日に、御前に集められました。みことばを聞き、罪を告白し、信仰が強められて、聖い生活ができるように祈り願うためです。

4. つどいの祈り

司式：祈りましょう。

恵み深い神様。あなたは愛と憐れみによって、塵に命の息を吹き込み、あなたと隣人に仕えるために、私たちを創られました。私たちの祈りとよき業を呼び起こし、御子の憐れみに信頼して御心にふさわしく立つことができるよう私たちを強めてください。あなたと聖霊とともにただ独りの神、永遠の支配者、御子、主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

5. 第一の朗読 ヨエル書 2 章 12～19 節 吉田岩雄兄

6. 詩編唱 詩編 51 編

司式：神よ、わたしを憐れんでください、慈しみをもって。

会衆：あなたの深い憐れみをもって、背きの罪をぬぐってください。

司式：わたしの咎をことごとく洗い、

会衆：罪から清めてください。

司式：神よ、あなたに背いたことをわたしは知っています。

会衆：わたしの罪は常にわたしの前に置かれています。

司式：神よ、あなたのみにもわたしは罪を犯し、御目に悪事と見られることをしました。

会衆：あなたの言われることは正しく、あなたの裁きに誤りはありません。

司式：わたしは咎のうちに産み落とされ、

会衆：母がわたしを身ごもったときも、わたしは罪のうちにあったのです。アーメン

7. 第二の朗読 コリントの信徒への手紙 2 5 章 20 節～6 章 2 節 島崎孝子姉

8. 福音の朗読 マタイによる福音書 6 章 1～6 節 伊藤優子姉

9. 説教 「塵は塵に、恵みは恵みに（コリント二5:20～6:2）」 李正雨師

10. すすめの言葉

司式：私たちの主である神は、私たちが神との交わりを喜び、すべての人類を愛し、あらゆる被造物と調和を保って生きるように、私たちを創造されました。しかし、私たちの罪が、神と隣り人とあらゆる被造物から、私たちを引き離し、造り主である神が望んでおられるように、私たちが喜びをもって生きることをできなくしてしまっています。私たちを裁くことではなく、御許に立ち返って生きることを望んでおられる父である神を悲しませているのです。自らの罪をざんげし、罪と誘惑に闘い抜く力が与えられるように、恵みの神に祈り求めましょう。

11. 罪の告白とざんげ ※一同は、自らを見つめ、今までの歩みを省みるため、しばらく沈黙する。

司式：憐れみ深い聖なる神様。私たちは、あなたと、すべての聖徒たちの前で告白いたします。私たちは、思いと言葉と行い、また、怠りと無関心によって、罪を犯しました。私たちは、心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたを愛することをせず、隣人を自分自身のように愛することもしてきませんでした。

会衆：主よ、憐れんでください。

司式：「わたしがあなたに仕えたように、あなたがたも互いに仕え合いなさい」との御子の呼びかけに、私たちは耳を閉ざしてきました。御子の御旨に、私たちは真実ではありませんでした。私たちはあなたの聖霊を悲しませています。

会衆：主よ、憐れんでください。

司式：主よ、今までのすべての不信仰をあなたに告白いたします。うぬぼれや偽善、生活の中で忍耐を怠ってきたことを、

会衆：主よ、あなたに告白いたします。

司式：祈りや礼拝することを怠り、あなたに十分に委ねることをしてこなかったことを、

会衆：主よ、あなたに告白いたします。

司式：主よ、私たちが犯してきた過ちに対する悔い改めを受け入れてください。人々の必要や損害に目を閉ざし、不正義や残酷な出来事に無関心でした。

会衆：主よ、私たちの悔い改めを受け入れてください。

司式：隣人を誤って裁き、慈悲をもって接することなく、自分と異なる立場にある人々に偏見と軽蔑の思いを抱いてきました。

会衆：主よ、私たちの悔い改めを受け入れてください。

司式：よき方であられる、主である神様。私たちをあなたのもものとして取り戻し、あなたの怒りを私たちから取り去ってください。

会衆：主よ、あなたの大きい憐れみのゆえに私たちの願いをお聴きください。アーメン

12. 罪の告白の結び

司式：神様。私たちのうちで、あなたの救いのみわざをなしとげてください。

会衆：私たちは世に輝くあなたの栄光を仰ぎ見ます。

司式：あなたの御子、私たちの主イエス・キリストの十字架と受難によって、

会衆：すべての聖徒たちとともに、主の復活の喜びへと私たちを導いてください。

13. 祝福を願う祈り

司式：主である神が豊かに祝福してくださるよう、心から祈りましょう。

慈しみ深い神様。あなたは、へりくだって、罪の贖いを願い求める者を受け入れ、ゆるしを与えられます。私たちの祈りに耳を傾け、あなたの民に祝福を注ぎ、きょうから始まる四旬節の日々を豊かに導いてください。私たちの主イエス・キリストによって。

会衆：アーメン。

14. 塗 灰 ※会衆は前に進み出る。牧師は、一人一人の額に十字の印に灰を塗る。

牧師：「あなたは塵からとられたものだから、塵に帰る。悔い改めて福音を信じなさい」

会衆：アーメン

15. ゆるしの祈願

司式：私たちの主イエス・キリストの父である全能の神は、罪人の死を望まず、私たちが悪しき思いと生活から立ち返ることを望んでおられます。私たちが日々行うことが神を喜ばせ、残りの人生が純粹にきよくあることができるように、そして終わりの日に永遠の喜びへと至ることができるように、まことの悔い改めと聖霊を私たちに与えてくださることを主に感謝します。私たちの主イエス・キリストによって。

会衆：アーメン

16. 主の祈り

全：天にましますわれらの父よ、願わくはみ名をあがめさせたまえ。

み国を来らせたまえ。み心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日ごとの糧を今日も与えたまえ。われらに罪を犯すものを、われらがゆるすごとく、われらの罪をもゆるしたまえ。われらを試みに会わせず、悪より救い出したまえ。国と力と栄とは、限りなくなんじのものなればなり。アーメン

17. 派遣の祈り

司式：憐れみ深い神様。今日から始まる（四旬節の）40日の旅をともに歩んでください。

貧しい人たちに分かち合い、困窮する人たちのために祈る者となり、自己を満たすことから離れ、何よりも、私たちの救い主であり主である、御子イエス・キリストの命のうちにある宝を見つけることができるように、洗礼の賜物によって私たちを新しくしてください。御子は、あなたと聖霊と共にただ独りの神、永遠の主です。

会衆：アーメン。

18. 祝福

司式：愛と憐れみの神の祝福があなたとともにあるように。父と子と聖霊の御名によって。

会衆：アーメン

19. おわりの歌 479番「ひかりかがやく」